

## 令和 6 (2024)年度 事業報告について

令和 6 (2024)年度は、「学会会の将来を見据えた組織の強化、更に拡大を目途に、その基盤となる若い世代を積極的に役員に登用するなど若手学員の結集、協力、強化を主軸に事業の推進を試み、併せて女性学員の活躍の場の充実、拡大を目指すべく事業の展開を図る。」という基本指針のもと、以下の事業を行った。

### 【令和 6 (2024)年度重点事業の実績】

#### 1. 支部に関する事業：ネットワーク強化：地域ブロック交流

本部内に「地域ブロックワーキング・グループ」を立ち上げ、検討の結果、「地域ブロックにおける交流は、会員相互の交流の幅が広がるだけでなく支部の運営にも役立つ有意義な取り組みであるが、地域差があるので地域ブロックの個性に合わせ柔軟に対応する。地理的な壁を超えるために情報の共有化を図り、地域ブロックにおける活動を支援する予算の充実を図る。地域ブロックの課題解決と同時並行で、支部自身の抱える課題について検討し、その活性化を支援する取り組みが不可欠である。」と整理した。

具体的には、令和 6(2024)年 7 月 14 日に「一都三県支部長懇談会」を、令和 7(2025)年 2 月 1 日には「北陸 4 県合同会議」を開催した。

#### 2. 広報に関する事業：Web サイト運営：Web サイト『白門オンライン』の充実

令和 6 (2024)年 3 月にリニューアルした学会会の Web サイト『白門オンライン』は、①支部の企画・イベント情報を気軽に書き込めるコンテンツを登載、②支部のページに各種申請書のダウンロード機能を設定、③紙媒体の『会員時報』には載せきれない情報をタイムリーに掲載するなど、支部の利便性向上や若い世代向けユーザー獲得に努めている。

紙媒体『会員時報』の発送の縮小については、卒業生システムの改修にも関わることから、検討を継続することとした。

#### 3. 会員に関する事業：若手・女性会員：若手白門サロン

毎月第 3 木曜日の 19 時から駿河台キャンパス 19 階「Good View Dining」に若手会員が集まり屈託のない意見交換を行うことを目的として「白門若手サロン」を開催し、参加会員相互の親睦と情報交換、大学や学会会の活動について発信の場を設けた。年間 8 回開催し、延べ参加人数は 72 人となった。

女性会員向けには、令和 7(2025)年 1 月 24 日に「サロントーク」イベントを試験的に開催した。

#### 4. 学生に関する事業：学生支援：学生ボランティア支援

学会会では中央大学ボランティアセンターを經由して学生ボランティアを支援している。ボランティアセンターでは、公認学生団体の活動支援を継続するとともに、一般学生を対象に、ボランティアに気軽に触れる機会を提供することを目的として、授業の空きコマを利用したボランティア、こども実験教室、夏休みの居場所づくり、能登半島被災地支援ボランティア等のプログラムを実施した。

学生ボランティアと地域支部との連携を含む「学生ボランティア支援」について、『会員時報』第 530 号に特集記事を掲載した。

【令和 6 (2024)年度学会事業報告：基本事業の実績】

\* 4～12 月は令和 6(2024)年、1～3 月は令和 7(2025)年

	事業	個別計画	実績
学員に関する事業	(1)学員表彰	永年在任学員表彰	●4月18日の選考委員会を経て、5月18日に表彰を行った。9人
		推薦学員	●4月18日の選考委員会を経て、5月13日の中央大学理事会で承認した。7人
		学員栄誉賞	●10月27日開催の中央大学ホームカミングデーの際に授賞式を行った。 ●飯塚翔太選手（陸上競技選手） Nakajin 氏（ミュージシャン）
		学員薫風賞	●実績なし
		学員会会長賞・会長奨励賞	●スポーツ分野の学員について、学員体育会会長の推薦に基づき、2月20日の会長・副会長会議で承認した。 <スポーツ：会長賞> 個人（5万円）21件
	(2)学員サービス	学員カード交付	●既卒入会者、代理徴収者への新規発行及び再発行分として6582件交付した。
		学員交流行事	●実績なし。
		白門サロン	●東京：駿河台キャンパス19階「白門サロン」 ●大阪：近畿白門サロン（ガーデンシティクラブ大阪）
		会議室貸出	●駿河台キャンパス18階に貸出用会議室2室（フリーWi-Fi設置）。
		学員アスリート支援	●実績なし
		学員クリエイター支援	●映画監督の学員を支援
		東都野球応援	●大学スポーツの観戦チケットを配付した。 東都大学野球チケット補助888件 ●大学スポーツ応援グッズを製作し、学員体育会に提供した。
		スポーツ応援グッズ	●応援バルーン、ハンドクラッカー、マフラータオル等を制作し学員体育会に提供した。
		白門ゴルフ	●9月24日、桜ヶ丘CCで5年ぶりに開催。 参加者88人
		白門駅伝	●11月3日、多摩キャンパス陸上競技場にて開催。参加者：379人
		立川予選会	●10月19日、昭和記念公園。405人の学員に入園チケットを配付。
		(3)若手・女性学員	学員交流行事(若手・女性)
	CBS 講座受講料補助		●若手学員(平成以降卒業)対象に、12月開講の中央大学ビジネススクール講座の受講料を半額補助し、11月2日に報告会を開催。受講者2人
	支部に関する事業	(1)支部活動支援	支部活動支援
支部 Web サイト開設支援			●新規開設時のみ5万円補助：2支部
支部「進路(就職)相談会」開催補助			●10万円を上限に補助：9支部
支部「講演会」講師料補助			●2万円を上限に補助：24支部

	事業	個別計画	実績
支部に関する事業 (続き)	(1)支部活動支援 (続き)	支部「記念誌」発行補助	●10万円を上限に補助：10支部
		学術講演会開催補助	●10万円を上限に補助：38支部
	(2)ネットワーク 強化	地域ブロック交流	●7月14日、一都三県支部長懇談会を開催。参加者53人。 ●2月1日、北陸4県5支部合同会議を開催。参加者24人
		ブロック旗贈呈	●実績なし
		大学知名度向上貢献地域交流補助	●10万円を上限：4件 ●50万円を上限：0件
	(3)新支部結成	支部新規結成支援	●支部結成時に15万円補助：1件
支部旗贈呈		●支部結成時、支部名変更1回に限り支部旗を贈呈：3件	
大学に関する事業	(1)大学支援	大学の中長期事業計画への協力・支援	●中央大学との関係を密にし、「Chuo Vision 2025」に基づく中央大学の事業を支援することを学員会の基本方針としている。
		大学への施設等支援	●実績なし
		大学スポーツ強化支援	●大学主催の「駅伝オンライン企画」に協力した。 ●白門支援金により陸上部をはじめとする運動部を支援している。
		白門飛躍募金活動への協力・支援	●大学の募金推進本部及び募金連絡調整会議に委員を選出している。 ●4月発行の『学員時報』第526号に「白門飛躍募金」振込用紙を封入した。
		ホームカミングデー協賛	●第33回ホームカミングデーに運営委員(副委員長を含む)と実行委員(委員長・副委員長を含む)を選出した。
	大学の社会貢献活動への協力・支援	●実績なし	
(2)父母連絡会との連携	父母連絡会支部との交流	●地位独自の交流として、就職懇談会や駅伝の合同応援を行っている。	
学生に関する事業	(1)学生表彰	学員会会長賞・会長奨励賞	●学長及び学員体育会会長の推薦に基づき、2月20日の会長・副会長会議で承認した。 ＜学術・文化：会長賞＞（5万円） 個人5件、団体6件 ＜学術・文化：奨励賞＞（2万円） 個人18件、団体9件 ＜スポーツ：会長賞＞ 団体(10万円)4件、個人(5万円)14件
	(2)学生支援	卒業生への記念品贈呈	●卒業生に「COACH オリジナルマグカップ」を贈呈
		卒業パーティー後援	●令和6(2024)年度は大学の卒業パーティーが開催されなかった。
		在学生への『学員時報』送付	●2年次以上の学生の父母宛に、年4回『学員時報』を送付した。
		在学生への就職活動対策支援	●学員会主催でクレセント・アカデミーに就職対策講座を開講した。 ES実践セミナー：100人 集団面接実践セミナー：49人
		白門「学生活動スタートアップ」支援金事業	●学長が推薦する在学生の活動のスタートアップを支援する事業として、10万円を上限に助成した。 ●5～6月募集、7月選考、7月末支援金支給、翌年3月報告会開催。助成5件。
		白門祭への協力	●支援を希望する各キャンパスの白門祭・大学祭の実行委員会に資金を援助した。
		学生ボランティア支援	●大学のボランティアセンターにボランティア活動に伴う交通費の補助を行った。

	事業	個別計画	実績
事業 奨学金	(1)白門奨学会	公益財団法人白門奨学会への寄附	● 学員カードの提携手数料 641,836 円を白門奨学会へ寄付した。
本部に関する事業	(1)学員会運営	協議員会・総会、支部長会議等の会議運営	● 5月18日、駿河台キャンパスにて開催。
		会長・副会長会議開催	● 8月を除く毎月、年間11回開催。
		幹事会開催	● ①4月18日,②1月16日,③3月21日に開催した。
		学員名簿管理	● 大学の卒業生システムを利用しての管理を継続している。
		学員間連絡ツールの検討	● 『学員時報』のアプリを作成する際に当該機能をつけることを検討している。
		会則等の見直し	● 実績なし
	(2)財政基盤の確立	学員会財政基盤の確立	● 会費収入：121,010,000円 代理徴収：113,820,000円 既卒者会費：7,190,000円 ● 白門支援金収入：32,992,577円
	(3)学員会の活性化	学員会費納入の依頼・促進	● 『学員時報』7月号を住所が判明している学員に送付し未納者には会費納入を依頼。
		支部総会への役員派遣	● 延べ157件
		支部活動報告書作成	● 166支部掲載の「支部活動報告書」を作成し、支部に配付。
		SDGs推進	● SDGsロゴ・アイコンを印刷したクリアファイルを学員会ノベルティグッズとして制作した。
	(4)白門支援金事業	募金、支援事業選定	● 例年通り『学員時報』の7月号、1月号に振込用紙を封入し支援金の依頼を行った。 ● 支援金の使途は白門支援金事業WGで検討し、学員支援、学生支援、大学スポーツ等の強化支援の事業費とした。 ● 白門支援金の決算報告は後掲する。
広報に関する事業	(1)機関紙発行	『学員時報』発行	● デジタル化推進の検討を開始した。 ● 『学員時報』を年4回(4・7・10・1月号、第526～529号)発行した。 4月号：156,500部 7月号：223,300部 10月号：159,400部 1月号：158,700部 合計 697,900部
		『学員時報』のデジタル媒体とのハイブリッド運用の検討	● 『学員時報』編集会議において検討している。
	(2)Webサイト運営	Webサイト『学員時報オンライン』	● 令和6(2024)年3月にリニューアルしたWebサイト『学員時報オンライン』のコンテンツ充実を図った。
		大学サイト内の学員会ページの改訂・保守	● 適宜、対応している。
	(3)学員会広報	学員会リーフレット制作	● 例年通り制作した。
		大学広報との連携	● 『学員時報』編集会議委員として大学事務局長と広報室長を迎え、情報共有に努めている。
		キミハルシネマ・フェスティバル	● 多摩キャンパスをロケ地にミュージックビデオを製作し、ホームカミングデー、白門祭で上映した。
		VI(ヴィジュアル・アイデンティティ)推進	● 実績なし